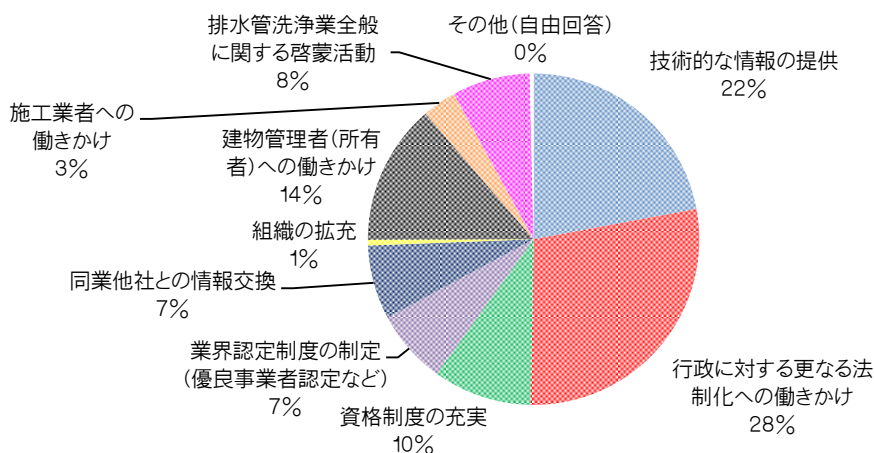


## Q5. 全国管洗浄協会に期待すること

協会に期待することとして「行政に対するさらなる法制化への働きかけ」の比率が最も高く28%を占めた。次いで「技術的な情報の提供」が22%と続いた。



	上位から順に			割合	
	1位	2位	3位		
① 技術的な情報の提供	27	13	12	22%	
② 行政に対する更なる法制化への働きかけ	39	14	7	28%	
③ 資格制度の充実	4	16	8	10%	
④ 業界認定制度の制定(優良事業者認定など)	4	10	7	7%	
⑤ 同業他社との情報交換	3	10	10	7%	
⑥ 組織の拡充	0	1	1	1%	
⑦ 建物管理者(所有者)への働きかけ	8	20	10	14%	
⑧ 施工業者への働きかけ	1	3	9	3%	
⑨ 排水管洗浄業全般に関する啓蒙活動	5	2	22	8%	
⑩ その他(自由回答)	0	0	2	0%	
	(回答総数)	91	89	88	

【自由回答】 ※原文をそのまま掲載しております。

- ・アクションプランが具体化し、本部としての基盤が固まり始めたら、今度は支部活動の活性化を充実(予算配分)させて、末端会員に魅力、メリットがアピールできる体制の確立を望む。
- ・技術の無い悪徳業者ほど免許、資格、法制化を好む。何故なら、簡単に安心感を客に与える事ができると思う。
- ・協会間での仕事のやり取りを充実してほしい。特に新規参入業者への気配りをした方が拡大するのでは？
- ・支部総会等に参加したことがあるが、知っている人のみの集まりみたいで溶け込めなかった。
- ・管洗浄施工前の施行計画書の作成。適正な工事価格を知りたい。
- ・法的に規制を入れてもらえるともっと仕事が増える。
- ・排水管清掃技士資格講習会は、関東は会員が多いと思うので、横浜だけではなく東京、埼玉等でも複数開催希望。
- ・洗浄が困難な建物や設備がどんどん増えていく事に対して、建築設計の業界やゼネコン等に対してなぜ疎通が図れないのか。